

兵庫県宝塚市
大型カルバート定期点検結果(概要版)
(施設ごとの健全性の診断結果資料)



令和7年3月
宝塚市都市安全部道路管理課

1. 点検結果の状況

○宝塚市が管理する大型カルバート 2 箇所のうち、令和6年度までに実施した定期点検の結果は下記のとおりです。

大型カルバート名	市道名	延長	交差状況 (上部)	定期点検結果	
				年度	診断判定区分
伊和志津トンネル	第3606号線	50m	伊和志津神社	R4	Ⅱ
阪急山本駅下カルバート	第3259号線	90m	阪急電鉄(株)山本駅	R4	Ⅱ

<点検結果の概要>

- ・ 伊和志津トンネルでは、ひびわれ、剥離・鉄筋露出等が確認されました。
- ・ 阪急山本駅下カルバートでは、ひびわれ、うき、漏水・遊離石灰等が確認されました。
- ・ 長寿命化修繕計画に基づき、補修を実施します。

損傷の事例



頂版にひびわれが見られます。



頂版にひびわれが見られます。



側壁にひびわれが見られます。



側壁にひびわれが見られます。



頂版に剥離・鉄筋露出が見られます。



側壁に漏水・遊離石灰が見られます。

2. 健全性の診断区分の考え方

○健全性の判定の単位

大型カルバートは、内空に2車線異常の道路を有する程度の規模の鉄筋コンクリート等で構築された箱型の構造体であることから、必要な機能や安全性、耐久性を維持するために、下記の部材単位で判定しています。

頂版・側壁・底版・継手・その他

○大型カルバートごとの健全性の診断

大型カルバートごとの健全性の診断は、上記の部材単位での判定をもとに、構造特性・環境条件・重要性等考慮し、専門家の意見等も踏まえ、総合的に判断を行っています。

定期点検結果 → 部材単位の健全性 → 大型カルバートごとの健全性

○健全性の判定区分

大型カルバートの健全性の診断は、下記の判定区分により行っています。

		区 分	状 態
損傷 小  損傷 大	I	健 全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
	II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
	IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

3. 健全性の判定区分と対策例

○健全性の診断により、適切な対策を行います。

【健全性の診断の判定区分と対策】

区 分	対 策 方 針	対 策 例
I 健 全	損傷は生じていない状態のため、特に対策は実施しません。	
II 予防保全段階	軽微な損傷がある状態のため、長寿命化修繕計画に基づき、予防保全の観点から対策を行い、コストの縮減を図ります。	・保護塗装 ・ひびわれ注入 等
III 早期措置段階	今後、構造物の機能や安全性に影響することが考えられる損傷がある状態のため、早期に対策を行い、機能と安全性を確保します。	・あて板補強 ・断面補修 等
IV 緊急措置段階	既に、構造物の機能や安全性に影響する損傷が生じている状態のため、緊急に対策を講じて、機能と安全を回復します。	・床版打替え ・架替え 等

※対策はあくまで目安であり、対策を実施する時期や内容については、各施設の重要度や構造等を考慮し、適切な時期と対策を長寿命化修繕計画において検討します。

4. 担当部署

○兵庫県 宝塚市 都市安全部 道路管理課

TEL : 0797-77-2094